

授業科目名	スクールソーシャルワーク実習			科目コード	K1504F14
英文名	Practical Training in School Social Work				
科目区分	子ども育成の相談・援助				
職名	教授	担当教員名	村上 満		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	集中講義	時限	集中講義		
開講時期	4年通年	授業の方法	実習		
必修・選択	自由	単位数	2単位		
授業の概要	スクールソーシャルワーク実習（富山市教育委員会派遣のスクールソーシャルワーカー配置小中学校および私立高校での現場実習、富山市生活保護受給世帯等への学習・生活支援実習、県内の社会資源見学実習：合計80時間）として、ソーシャルワークに係る知識と技術について学校教育現場において、スクールソーシャルワーカーの果たす役割や機能について、具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる総合的な能力を涵養する。				
キーワード	富山市学習支援事業	アセスメント	校内相談体制	プロセス評価	アウトカム評価
到達目標	学校教育現場で生活（学校・家庭）課題を抱えている対象者（児童・生徒、家族、地域等）を支援することを通じて、スクールソーシャルワークの必要性を理解することができる。（25％）				
	富山市生活保護受給世帯の実態と学習・生活支援の実際について理解できる。（25％）				
	チームとしての学校のスタッフの一人として、校内外でのスクールソーシャルワーカーの機能と動きについて説明できる。（25％）				
	スクールソーシャルワーカーが活用する社会資源について説明できる。（25％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
					○
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	富山市生活保護受給世帯等学習支援事業（週1回 2時間：合計50時間～60時間程度） *当該事業が地域社会の中で果たす役割の理解及び担当ケースへの働きかけ	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分
第2回	現任スクールソーシャルワーカーとの校内現場実習（週1回 4時間：合計20時間程度） *SSWが校内外で果たす役割の理解及び担当ケースへの働きかけ（校内適応指導教室での働きかけ）	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分
第3回	県内外の社会資源見学実習（5カ所：合計10時間程度） *社会資源の役割の理解	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分
第4回		
	【予習】	
	【復習】	
第5回		
	【予習】	
	【復習】	
第6回		
	【予習】	
	【復習】	
第7回		
	【予習】	
	【復習】	
第8回		
	【予習】	
	【復習】	
第9回		
	【予習】	
	【復習】	

第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	
第17回		
	【予習】	
	【復習】	
第18回		
	【予習】	
	【復習】	

第19回		
	【予習】	
	【復習】	
第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	

第28回		
	【予習】	
	【復習】	
第29回		
	【予習】	
	【復習】	
第30回		
	【予習】	
	【復習】	
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 1 ～ 3 は、本学の実習評価票（16項目）にもとづいて、実習指導者が評価する。(100%) 評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%		
使用資料 ＜テキスト＞	実習の手引き(本学作成)	使用資料 ＜参考図書＞	毎回の授業で、関係資料を配布する。 日本学校ソーシャルワーク学会
授業外学修等	上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 毎回講義の開始時に、振り返りのための復習課題を課す。 児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。		
授業外質問方法	メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。常に、報告、連絡、相談に心掛けること。		
オフィス・アワー	木曜・3限 E709村上研究室		